



## 第 4 章

---

# 地域毎のまち育ての展開

## 1 地域毎のまち育ての基本的な考え方

- 1 基本的な考え方
- 2 地域別構想の単位

## 2 地域別構想の作成と地域のまち育ての展開イメージ

- 1 まち育ての展開イメージ
- 2 まち育ての実践イメージ
- 3 今後の取組方針



# 地域毎のまち育ての基本的な考え方

弘前市では、計画づくりを行なう委員会等に参加することだけを協働のまちづくりとするのではなく、まちの様々なことを学び、考えながら、自分たちでできることからよりよいまちづくりを目指そうとする継続的な取組を「まち育て」と定義し、市民と行政と一緒に地域の将来について考えていくことを進めていきます。行政がこの地区はこうすると決める一方通行の計画づくりではなく、地域にお住まいの方に地域の様々なことを教えてもらいながら、その地域のことを共に学び、身近なまちについて市民・行政ともに十分に知った上で、どのような都市づくりの課題を抱えているかともに見究め、将来どのような地域像が望ましいかについて検討していかなければなりません。

そのため、この地域別構想の策定を将来像として描いている20年後までに1回だけ行なって終わらせるのではなく、毎年度どこかの地区で市民と一緒に実施し続けるエンドレスな取組として時間をかけて実施していきます。

昨年度はモデル地区として第一中学校区と相馬中学校区で実施し、今年度は第二中学校区と岩木地区の津軽中学校区と常盤野中学校区で実施しました。1台ずつ出陣するねぶたのように、1地区ずつ完成させながら、順次策定していきます。また、地区の選定にあたっては、そのときに話題のある地域の順番を繰り上げて実施するなど、地域特性や実情を考慮して柔軟に対応していきます。

## 1 基本的な考え方

地域のまち育ては、計画づくりだけでなく、住民による実践こそが重要であり、そのため、計画を策定しながら実践し、まち育ての営みとして継続させていくことが重要です。

以上を踏まえて、地域別構想の策定について以下の考え方で実施します。

- ① 地域のまち育ては計画の作成から実践まで継続的に続けていくことが重要であり、そのようなプロセスを設定します。
- ② 計画の作成と市民の参加には一定の時間をかけ、住民が自ら作成し実践する地域のアクションプランとして責任をもてるような丁寧でわかりやすいプロセスとします。
- ③ 地域特性や地域の実情に合わせて、柔軟に対応し、全地区を一律に進めるのではなく、各地区のペースに合わせて順次策定するとともに、状況の変化により随時見直しを行います。

地域別構想は、住民が主体となった地域のまち育てを展開していくための「手法」であり、地域の「将来ビジョン」を示すとともに、地域別構想の策定プロセスを、住民主体のまち育ての担い手（人材）の発掘とまち育ての本格的な始動のためのきっかけとしていきます。

## 2 地域別構想の単位

地域別構想は、市民の皆さんが生活する身近な範囲におけるまち育てのあり方を示すものであることから、なじみの深い「学区」、それも中学校区の単位(16地域)で作成することにしました。

### 〈地域別構想のテーマ〉

- ①子供たちにとって暮らしやすい環境の創造
- ②子供たちが将来帰って来たくなる地域の創造
- ③お年寄りが安心して住み続けられる生活サポートの提供

▶図表4-1 地域の単位(16地区)



## 地域別構想の作成と地域のまち育ての展開イメージ

### 1 まち育ての展開イメージ

住民自らまち育てを展開させるため、まち育ての中期的な展開を、大まかに以下のように設定し、それぞれの段階に必要な支援や仕組み、事業等を検討し、地域が自立してまち育てを展開できるような環境づくりを行います。

また、制度や事業等の詳細については、庁内関係課との調整を図りながら具体的に検討していきます。

▶図表4-2 地域のまち育て展開のイメージ

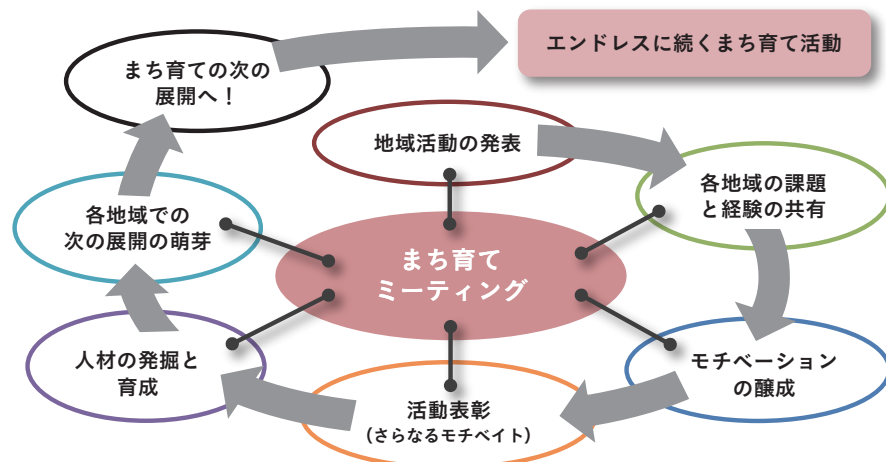


### 2 まち育ての実践イメージ

地域の活動、まち育てを実践していくためには、主役となる市民が、多くの情報や刺激を受けて具体的な展開イメージを得て、モチベーションを高めることが重要です。

そのため、地域別構想の策定後から、市民が「まち育て」の実践に向かっていくために、「まち育てミーティング」を毎年開催し、地域のまち育て活動の情報共有とモチベーションの醸成の場とすることを検討します。

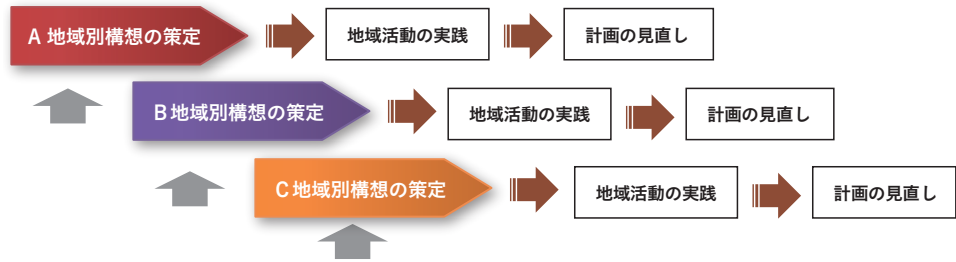
▶図表4-3 エンドレスなまち育て活動



### 3 今後の取組方針

今後、1年に数地区ずつ策定し、数年間かけて16地域の地域別構想を完成させていきます。

▶図表4-4 平成26年度以降の展開イメージ



#### 【策定支援と人材育成】

- ファシリテーターとして、市、弘前大学、コンサルタント、まち育て人、防災マイスターなどを派遣
- 地域別構想策定と並行して、(仮称)まち育て人養成講座などを実施し、人材育成を図る